

おはなし会のお知らせ

木 10:30 図書スタッフのおはなし会
2/11、2/25 (毎月第2、4木曜日)

日 14:30 ボランティア『ウーフ』のおはなし会
2/21 (毎月第1、3日曜日)

場所：1F イベントスペース

先着8組(1組3名まで)

☆開始30分前より1F総合カウンターで受付

☆状況により入場制限や中止になる場合がございます。

企画コーナーのお知らせ

ヨッテラッシャイ



太田

ようこそ!

テアトルポッポ オオタへ

ミテラッシャイ



太田

落語、講談、漫才
音曲、手品、曲芸
などバラエティー
豊かでございます

洋画、邦画、アニメなど
幅広く取り揃えております

1/30(土) ~ 3/28(日)



ねこといいちゃん

岩合 光昭/著

(クレヴィス)

778 イ



☆その他3Fアートコーナーにもたくさんあります

休館日・館内整理日

2021	2						FEB
日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	⑪	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	26	
27							
28							

■ 休館日 ■ 館内整理日 ○ 図書イベント日

☆館内整理日は図書エリアが休館となります。

1F ブラウジングコーナーはご利用いただけます。

開館時間

10:00~18:00

(当面の間、開館時間を短縮させていただきます)

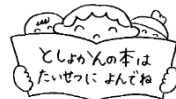
ブックポストのご案内

西入口・駐輪場となりブックポストがあります。

閉館中はそちらへ返却できます。

大型本は開館日に図書カウンターまでお持ちください。

◆ 図書除菌機あります! ◆
場所：2F スロープ席入口



◆ ご自由にご利用ください! ◆

太田市
美術館・図書館
ART MUSEUM & LIBRARY,
OTA

太田市美術館・図書館

Tel : 0276-55-3036

<http://www.artmuseumlibraryota.jp/>



NEWS

トートバックモニターを募集します

本とトートでつながる プロジェクト

トートバックブランド ROOTOTE と太田市のシティプロモーション事業として、当館オリジナルの図書貸し出し用トートバックを作成しました。以下の条件を満たした方にバックをお渡しいたします。ぜひモニターにご参加ください!



募集期間：2/2(火)~

定員：先着 200名(1家族1枚)

対象：市内在住・在学の3歳~小学生

またはその親で、次の全ての条件を満たす人

- 当館利用規則を遵守できる
- モニター期間内に5回以上貸出を利用する
- メールで送付するアンケートに協力できる

☆詳しくは館内配布のチラシ、当館HPをご覧ください。

特設
企画

ルートート あなたはどっち派? 赤 or 青

場所：2F 日本の絵本・児童書コーナー
バックの見本を展示しています



国際アンデルセン賞
歴代受賞者

1966年

作家賞

トーベ・ヤンソン

1914-2001 フィンランド



彼女を代表する作品と言えは「ムーミン」ですが、実は大人向けの小説も書いているんですよ。
(トーベ・ヤンソン・コレクション全8巻)

トーベ・ヤンソン・
コレクション1
(筑摩書房)
Aヤ1 1966T

コレクション1は
“旅”がテーマの
短編集です。

画家賞

アロワ・カリジェ

1902-1985 スイス



山間のちいさな村、トゥールで生まれた彼の作品には、アルプスの自然とそこでの暮らしが描かれています。

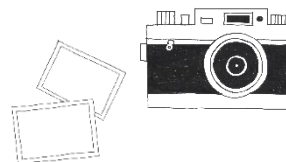
アルプスのきょうだい
(岩波書店)
Aカ1966P

1冊で2つのおはなしが楽しめます。



地方都市
吉江 淳/著
(蒼穹社)
748ヨ

写真家の吉江淳さんによる写真集です。吉江さんが主に被写体にするのは、街と川ですが、街に焦点を当てた写真集がこちら。太田市をはじめ、埼玉、茨城、長野などの街の様子の写真は、どこか均一で、特徴が見極められないけれど、見入ってしまう魅力を持っています。展覧会でも多くの「地方都市」の写真を展示しています。併せてご覧ください。



美術館・図書館

学芸員のおすすめ

図書館だより読者のみなさま、こんにちは！

1月からいよいよ美術展が再開しました。

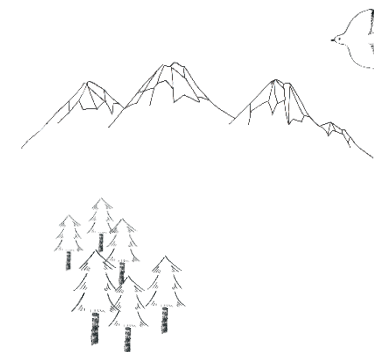
ポローニャ展に引き続き、2/11からは開館3周年記念展「HOME/TOWN」が始まります。

今回は本展と写真にまつわる4冊をご紹介します。



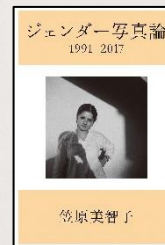
川世界
吉江 淳/著
(Salvage Press)
748ヨ

こちらは川が被写体です。小川や大河、生活水路など、川といえども様々な姿がありますが、ここでは利根川周辺の冬の様子が写されています。生活廃棄物のある川辺、荒れ果てた河原、カラカラに乾いた草むらなどが混在する「川世界」をこの写真集に収めています。植物の生と人間による管理の拮抗が「自然」を形作っていることが実感できる写真です。



GIFT
MARI
KATAYAMA/著
(1対1レッド・ヴァンポリス)
748カ

2007年から2018年までの片山真理さんの作品を集めた写真集です。自身が裁縫で制作したオブジェを写した写真や、そのオブジェを空間に配し自身とともに撮影したセルフポートレートで構成されており、オブジェと身体が融合したユニークな写真の数々に目が奪われます。なお、本作で2019年度第45回木村伊兵衛写真賞を受賞しています。展覧会には、本書に掲載されていない2019年以降の作品も展示されていますので、ぜひ両方ご覧ください。



ジェンダー写真論
1991 2017
笠原 美智子/著
(里山社)
740カ

ジェンダーとは「社会的、文化的に形成される性別」のこと。本書は、ジェンダーの視点から見た写真がテーマです。前半では、女性が撮影したセルフポートレートについて論じられており、「女性とは何か、という命題に対して、彼女たちの関心は〈自分〉へと向けられる」(p.21.)として、「女」というジェンダーに向き合ってきた写真家の姿勢を知ることができます。写真の見方の一助となることでしょう。